

年も災害の多い年となつてしまいました。

そのような中、私共は、「力強い前進」と「聖域なき検証」の年と位置付けまして、一つは「役場新庁舎整備」もう一つは「A級グルメ構想」、この2つの事業を軸に力強く前に進めて参りました。

2つの事業以外にも、公共交通の実証運行やふるさと納税の推進、浅海漁業対策、合葬墓地の整備、コミュニケーションカフェの充実や高齢者をみんなで支え合う生活支援体制事業などを進めて参りました。また、切れ目のない子育て支援の構築に向けて、幼稚園の在り方やまちの創生をかけた重要施策が盛り込まれます第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案をまとめて参りました。

そして、今年度でございませうが、私たちは「勇気ある変革」と「次なる飛躍」の年と位置付けまして、まずは、新庁舎整備事業に鋭意取り組み、移転に向け、お年寄り、子供にも優しい各種住民サービス等の在り方や公共交通網の整備、自主防災組織を核とした、さらなる減災対策などについ

て、全力で進めています。

さらには、今年度の最重要案件を「子育て支援」と「居住支援」に決め、変化を恐れず、勇気ある議論を進めているところでございます。

A級グルメ構想につきまして、鹿部町産業連携ビジョンを策定し、町民皆様とその理念であります、豊かな自然や地域の食を守り、生産、加工、流通、販売、消費までの全ての方々がつながり、共に支え合うという、その想いを共有し、「食」で「職」をつくるをテーマに身の丈に合った事業を一つ一つ実施して参りたいと考えております。



にっぽんA級(永久)グルメのまち連合設立

そして、基幹産業であります、漁業を守り抜くために、「つくり・育てる漁業」の構築と、「稼げて、かつこよくて、革新的」を合言葉にその日の漁模様で一喜一憂しない、盤石な漁業体制づくりに向け、昆布やウニ、カキ、なまこの試験的取り組み、人財育成、漁業協同組合との意見交換会など開催しております。本年につきましても、各関係機関との連携を密にしながら進めて参ります。

また、昨年度から進めております、各種事務事業や運営方法などの検証につきましては、変えるべきものは変え、守るべきものはしっかりと守りながら、進めて参ります。「答えは探すものではない、答えは作るものだ」と言われた方がおりますが、まさに、いま、私たちの前に道はなく、私たちの後ろに道ができる状況であります。答えのない、多様性の時代に皆様と「心ひとつ、ワンハート」で、誰のせいにもしない、自分事として考え、今の自分になにができるのか、批判ではなく提案に変え、思想ではなく行動に移します。我々は、次の時代に何を残

し、何を残さないのか、私たちの未来のために、恐れることなく、勇気をもって変革し、地域の自信と誇りを胸に次なる時代へと向かい、日本一、魅力ある漁師町、日本一、行ってみたい、住んでみたい漁師町を目指し、町民の皆様と力を合わせ、オール鹿部で立ち向かい、鹿部新時代を躍進いたしましたと考えておりますので今までの上のお力添えをお願い申し上げます。この町に暮らす誰もが頼りにしたり、頼りにされたりする昔ながらの当たり前の関係性を保つ、各世代が安心して暮らせる共生社会実現を目指して参ります。

結びに、医療関係者をはじめといたします、生活基盤維持のために最前線でご活躍くださっている全ての方々への敬意と感謝を申し上げます、町民皆様方の益々のご活躍とご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和三年元旦

鹿部町長 盛田昌彦